

平成 22 年度決算に係る

定 期 監 査 調 書

平成 23 年 7 月

鳥取県立公文書館

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	1
5	役付職員の調べ	1
6	主な事業に関する調べ	2
7	収入証紙取扱額調べ	7
8	収入事務処理状況調べ	7
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	8
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8
11	不納欠損額調べ	8
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	8
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	9
13	工事請負費調べ	10
14	財産に関する調べ	10
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	11
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	11
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	11
19	寄附物件の受納状況調べ	11
20	備品の処分状況調べ	11
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	11
○	意見、要望等	11

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
公文書館	公文書担当	<input type="radio"/> 公文書等の収集、整理及び保存に関すること。 <input type="radio"/> 公文書等の閲覧、展示その他の利用に関すること。 <input type="radio"/> 公文書等に関する調査研究に関すること。 <input type="radio"/> 県の施策その他の県政に関する情報の提供に関すること。
	県史編さん室	<input type="radio"/> 県史編さんに関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成23年7月1日現在)

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	22 4 1 現 在	当 該 年 度	22 4 1 現 在	当 該 年 度	22 4 1 現 在	当 該 年 度	22 4 1 現 在	
定 員	11	11					11	11	
現 員	11	11					11	11	
過不足(△)									
臨 時 職 員									
非常勤職員	13	12					13	12	特別職3、一般職6 緊急雇用4

5 役付職員の調べ

(平成23年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
公文書館長	足田 晃	1	3	
参事	大東 辰雄	2	3	公文書担当
県史編さん室長	坂本 敬司	6	3	
総括専門員	伊藤 康	4	3	通算17年3月

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要
<p>公文書館体制整備 検討事業</p> <p>決算（見込）額 1,299千円 （財源内訳） 一般財源 1,299千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 平成21年7月1日に公文書管理に関する法律が公布され、当館業務に関わる部分でも、利用権の請求権化や不服申立制度の導入などの新たな考え方が盛り込まれており、対応を検討する必要がある。併せて、開館から20年を経過し、現在抱えている書庫の狭隘さ、デジタルアーカイブ及び収蔵資料管理システムや職員体制などの課題について現状を点検し、必要な県民サービスを提供できるあるべき体制について検討する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①公文書館関係法規の検討 公文書管理法に対応した本県の条例、規則等の見直しを実施</p> <p>②公文書基本機能検討委員会の設置 委員 5名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●検討事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>○公文書館の業務と運営のあり方及び関連法規について</li> <li>○書庫の機能及びスペースについて</li> <li>○上記2点について、別途設置されたワーキンググループ（WG）の検討や視察調査を踏まえて館長への提言の取りまとめ</li> </ul> </li> <li>●第1回検討委員会（H22.4.26） <ul style="list-style-type: none"> <li>○公文書館の現状と諸課題</li> <li>○検討スケジュール</li> </ul> </li> <li>●先進地視察 H22.6.3～6.4 神奈川県立公文書館、埼玉県立文書館、国立公文書館</li> <li>●先進地視察 H22.7.21～7.23 岡山県立記録資料館、沖縄県公文書館、北谷町公文書館</li> <li>●第2回検討委員会（H22.10.20） <ul style="list-style-type: none"> <li>○視察結果</li> <li>○委員会報告に向けての論点整理</li> </ul> </li> <li>●第3回検討委員会（H23.1.20） <ul style="list-style-type: none"> <li>○委員会報告取りまとめ</li> </ul> </li> </ul> <p>③委員会報告の骨子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全行政機関を対象とする公文書管理条例（仮称）を制定して公文書管理体制の充実を図ること。</li> <li>●条例等関連規程を見直す中で、公文書の保存年限を国際慣行に準じて最長30年とすること。</li> <li>●所蔵する公文書等や電子文書に対応した管理・検索システムを早急に整備すること。</li> <li>●県民の一般利用はもとより県職員への研修を充実させるといった普及・啓発活動をより一層充実させること。</li> <li>●書庫の狭隘化の解消に対応するのはもちろんであるが、引継公文書の増大を見据えて新しい書庫のスペースの確保についても検討すること。</li> <li>●専門知識や技術を有する職員の確保と育成及び処遇を検討すること。</li> </ul> <p>④ワーキンググループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公文書等管理検討ワーキンググループ <ul style="list-style-type: none"> <li>○公文書管理条例（仮）制定に係る意見や施設整備に関する意見の取りまとめ</li> </ul> </li> <li>●電子公文書検討ワーキンググループ <ul style="list-style-type: none"> <li>○電子公文書の管理・移管・利用・保存に関する意見のとりまとめ</li> </ul> </li> </ul> <p>⑤公文書管理研修会の実施（平成22年11月12日（金）） 「公文書管理「新時代に向けた取組」」（講師 内閣府参事官 岡本信一氏）</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 書庫の狭隘化に対応し、書庫の収納方法の見直しを図るとともに、不要資料の廃棄を実施。</p>	

事業名	概	要
(公文書館体制整備 検討事業)	<p>ウ 成果 公文書館の機能の強化・充実に向けての方向が明確にされた。</p> <p>エ 課題 委員会報告で提言された内容について具体的に実施すること。</p>	
<p>新鳥取県史編さん事業</p> <p>決算(見込)額 31,340千円 (財源内訳) 一般財源 29,873千円 財産収入 1,425千円 その他 42千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 昭和38～56年度に実施された「鳥取県史」(全18巻)の編さん事業終了から20年以上が経過し、その間の新たな発見や研究の進展、また「鳥取県史」で十分に取り上げられていない事項をまとめるため、「新鳥取県史」の編さんを行う。(平成18年度から5年次目)</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①県史編さん委員会、専門部会の開催 ・編さん委員会…編さん方針、室業務の検討(8人、年2回) ・専門部会…各時代・分野ごとの編さん内容の審議・提言(30人、各年2回)</p> <p>②資料調査等 ・考古部会 県内主要古墳の測量調査等 ・古代中世部会 県内外の中世史料調査等(20カ所) ・近世部会 鳥取藩の家老日記解読、県中部主要文書の調査等 ・近代部会 明治前期の「鳥取県史料」の解読、県内町村役場資料の調査等 ・現代部会 満州移民に関する資料調査、県内町村役場資料の調査等 ・民俗部会 県内中部平野湖沼部の地域民俗調査等</p> <p>③ブックレットの刊行・頒布 ・刊行3巻 「第7巻 満蒙開拓と鳥取県—大陸への遙かなる夢」 「第8巻 古代因幡の豪族と采女」 「第9巻 里海と弓浜半島の暮らし—中海における肥料藻と採集用具」 ・頒布 県庁県民課、各総合事務所県民局等、従来の販売窓口に加え、今井書店県内7店舗で販売開始。第5巻は琴浦町日韓友好資料館内韓国物産館で販売開始。</p> <p>④新鳥取県史シンポジウムの開催 「因幡・伯耆の戦国社会—“境目”地域を生きた人々」 平成22年11月27日(土) 米子市文化センターイベントホール 約100名</p> <p>⑤県史編さん協力員(ボランティア)の募集と活動 「古文書解読」、「民具整理」の2分野で募集し、約50名参加</p> <p>⑥「県史だより」の発行(H18.4～) 資料調査や研究活動に関する様々なトピックを紹介するため、概ね毎月発行し、ホームページ及び県内図書館で閲覧できるようにしている。12回発行(H22.4～23.3)</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ブックレットについて、県民へのより一層の周知と利便性の向上を図るため、書店及び関係施設で販売することとした。</p> <p>ウ 成果 ・ブックレット3冊を刊行し、事業の成果を県民に還元することができた。また、書店等での販売を開始したことにより、県民への周知が進み、販売部数が増加した。 ・新鳥取県史シンポジウムでは、戦国時代の「境目」に焦点をあて、因幡・伯耆の歴史を新しい視点から捉え直し、参加者からは概ね好評であった。</p> <p>エ 課題 各部会とも、資料編の刊行に向けた調査に要する業務量が予想以上に多く、全般的に事業が遅れ気味となっている。今後、事業計画の見直しと、適切な業務の進行管理を行う必要がある。</p>	

事業名	概	要																																								
<p>親しまれる公文書館 推進事業</p> <p>決算（見込）額 1,629千円 （財源内訳） 一般財源 1,629千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 公文書等の持つ情報に触れる機会を多くすることで、館の役割や所蔵資料に対する県民の理解を深め、公文書館の利用拡大を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①展示会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展「鳥取県のあゆみ」（通年）</li> <li>・企画展「アーカイブズの世界-紙とデジタルの共存-」 （6月19日（土）～8月1日（日）入館者1,028人）</li> <li>・企画展 開館20周年記念特別展示「広報写真に見る鳥取県-戦後からわかとり国体まで-」（11月6日（土）～12月19日（日）入館者1,975人）</li> <li>・小企画展「絵葉書にみる鳥取県」 （1月14日（金）～3月31日（木）入館者1,755人）</li> </ul> <p>②「こちらく夏休み自由研究」協力隊」（第3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会 場 当館会議室</li> <li>・会 期 8月7日（土）～8日（日）（2日間で作品完成）</li> <li>・展 示 8月17日（土）～22日（木）（公文書館展示コーナー）</li> <li>・参加者 6名（小学4年～中学2年）</li> </ul> <p>③公文書等資料保存研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会 場 県立図書館（大研修室）</li> <li>・会 期 1月21日（金）</li> <li>・講 演 「公文書管理と行政職員:違いを作るのはあなたです」</li> <li>・講 師 富永一也氏（沖縄県公文書館主幹）</li> <li>・討 論 会 「今からでも遅くない、職場の文書管理」</li> <li>・討 論 者 公文書館長（進行役）以下6名</li> <li>・参加者 88名（市町村職員、県職員ほか）</li> </ul> <p>④公文書館探検隊（館内視察）… 団体数7(2)、来館者数146(101)（前年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遷喬地区在住者（4/24 30名）</li> <li>・遷喬小学校児童（6/17 20名）</li> <li>・岩美中学校生徒（8/3 21名）</li> <li>・倉吉シニア大学在学者（8/25 35名）</li> <li>・醇風小学校児童（10/8 7名）</li> <li>・関金町在住者（10/27 22名）</li> <li>・岩美町大岩在住者（12/9 11名）</li> </ul> <p>⑤出張授業、出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩美中学校2年生（3/12 100名）</li> <li>・青谷高齢者教室（2/8 64名）</li> </ul> <p>公文書館利用状況</p> <table border="1" data-bbox="454 1612 1396 1904"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">県民の利用</th> <th colspan="2">県職員の利用</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>入館者数(人)</th> <th>相談・案内(件)</th> <th>利用(人)</th> <th>貸出/閲覧(冊)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18</td> <td>9,870</td> <td>670</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>12,360</td> <td>669</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>13,748</td> <td>1,066</td> <td>1,260</td> <td>2,051</td> <td></td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>12,500</td> <td>1,491</td> <td>1,132</td> <td>2,339</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>9,419</td> <td>1,278</td> <td>924</td> <td>1,995</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 各事業の質を低下させないように事業の仕分けを実施した（巡回講座と研究紀要の休止）。これにより、開館20周年記念特別展示等の展示事業を充実させることができた。</p>	年度	県民の利用		県職員の利用		備考	入館者数(人)	相談・案内(件)	利用(人)	貸出/閲覧(冊)	18	9,870	670	—	—		19	12,360	669	—	—		20	13,748	1,066	1,260	2,051		21	12,500	1,491	1,132	2,339		22	9,419	1,278	924	1,995		
年度	県民の利用		県職員の利用		備考																																					
	入館者数(人)	相談・案内(件)	利用(人)	貸出/閲覧(冊)																																						
18	9,870	670	—	—																																						
19	12,360	669	—	—																																						
20	13,748	1,066	1,260	2,051																																						
21	12,500	1,491	1,132	2,339																																						
22	9,419	1,278	924	1,995																																						

事業名	概要
<p>(親しまれる公文書館 推進事業)</p>	<p>ウ 成果 展示等の広報活動が徐々に成果を結び始めており、県民の館内見学（公文書館探検隊）が増加した。また、「歴史資料保存事業」でデジタル複製した写真を有効利用した開館20周年記念特別展示がマスコミ（テレビ、新聞）に取り上げられた。</p> <p>エ 課題 担当職員の人数も限られており、業務に従事できる時間も制約があるため、事業の精選に取り組む必要がある。</p>
<p>歴史資料保存事業</p> <p>決算（見込）額 6,008千円 （財源内訳） 一般財源 5,996千円 その他 12千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 （ア）目的 公文書館が所蔵する貴重資料を後世に伝えるために、貴重資料のうち劣化が著しい資料を保存と利活用の観点から、効果的な修復及びデジタル化を施す。 （5年計画の4年目）</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <p>①貴重公文書の補修 ・ 公文書綴『鳥取大火災復興計画』等7冊を主に裏打ち補修で修復</p> <p>②ネガフィルムのデジタル化 ・ 県政広報関係フィルム（8,920葉）をデジタル化</p> <p>③写真アルバムの修復及び複製本作製 ・ 『水産試験場旧蔵写真アルバム』等3冊の複製本作成及びデジタル化</p> <p>④マイクロフィルムのデジタル化 ・ 酢酸劣化の著しいフィルム（41リール〈約2万コマ〉）をデジタル化</p> <p>⑤資料整理 ・ 修復・デジタル化の必要な資料の整理・抽出及び修復終了資料の整理・目録化</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 年度末に集中しないような業者発注を心がけた。</p> <p>ウ 成果 貴重資料の修復を行うとともに、これらを展示会、県民への提供等に有効活用することができた。</p> <p>エ 課題 次年度が最終年度であるが、修復が急がれる資料が相当数残っており、平成24年度以降も継続して修復事業に取り組む必要がある。</p>

事業名	概	要
<p>公文書収集利用促進費</p> <p>決算（見込）額 8,603千円</p> <p>（財源内訳） 一般財源 8,457千円 その他 146千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的 公文書等の収集や保存、利用を促進するとともに、その調査研究を行う。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <p>①簿冊（公文書綴）の引継ぎ ・完結後20年を経過した知事部局本庁の永年保存簿冊を1,035冊引継ぎ。 ・知事部局本庁の有期限簿冊（10年、5年保存）を1,033冊引継ぎ。 ・知事部局地方機関の永年保存、有期限簿冊を278冊引継ぎ。 ・教育委員会事務局の永年保存簿冊を386冊引継ぎ。 ・監査委員事務局の有期限簿冊を53冊引継ぎ。</p> <p>②行政資料、統計資料等の収集・管理 ・既蔵分の見直し（廃棄）を行うと共に、約2,000冊を収集した。 ・平成22年3月末現在の所蔵数は63,408冊。</p> <p>③複製本の作成 ・マイクロフィルムで収集した資料のうち、利用度の高いものを印刷・製本（29冊）した。</p> <p>④中性紙保存箱への装てん ・簿冊の劣化を防止する目的で、中性紙製の保存箱を160箱発注した。（装てんは次年度）</p> <p>⑤利用（レファレンス） ・公文書や行政資料、統計資料等について、閲覧や検索、情報提供、複写等のサービスを行った。</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 狭隘化する書庫の改善及び出納業務の迅速化と検索システム対応の観点から公文書等の配架を全面的に見直し中である。（次年度9月完了を目的に作業中）</p> <p>ウ 成果 書庫配架の見直しにより、出納業務の迅速化と検索システム構築への目処が立ちつつある。</p> <p>エ 課題 簿冊の引継ぎ、書庫への配架等には作業の手間がかかるため、担当職員を現状以上に充実させる必要がある。</p>	



- 7 収入証紙取扱額調べ 該当なし
- 8 収入事務処理状況調べ 該当なし
  - (1) 分担金及び負担金 該当なし
  - (2) 使用料 該当なし
  - (3) 手数料 該当なし
  - (4) 財産収入 該当なし

(平成23年2月28日現在)  
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
物品売払収入	物品売払収入		494	1,556,235	1,550,920	0	5,315	県刊行物作成要領、鳥取県物品 県刊行物取扱規則	
	計(節)		494	1,556,235	1,550,920	0	5,315		
目計			494	1,556,235	1,550,920	0	5,315		
合計			494	1,556,235	1,550,920	0	5,315		

(5) 諸収入

(平成23年2月28日現在)  
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入	雑入	情報提供サービス 複写料金	114	89,770	89,760	0	10	鳥取県立公文書館の設置及び 管理に関する条例等	
		複写物及び刊行 物送料	138	39,317	39,197	0	120	鳥取県立公文書館の設置及び 管理に関する条例等	
目計			252	129,087	128,957	0	130		
合計			252	129,087	128,957	0	130		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況 (平成23年2月28日現在)

(単位：円)

収入科目(節)	収入済額	備考
物品売払収入	958,120	刊行物売払収入
雑入	87,485	コピー、送料代

イ つり銭の状況 (平成23年2月28日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	20,000

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ ① 物品売払収入について…平成23年3月4日に収入済  
② 雑入について……………平成23年3月1日に収入済

11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成23年2月28日現在)

(単位：円)

予算科目(目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等(規約、要領等を含む)	備考
公文書館費								
支出額が10万円未満のもの						40,000		
目計						40,000		
合計						40,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

## (4) 委託料

(平成23年2月28日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 単 の別	委託料の名称	委託料の 相手方	当初契約			入札等年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況		備考	
				予定価格	契約				支出 区分	支出 年月日		金額
					変更契約 (最終)	契約 期間						
	単 単	六部山3号墳及び面影山 73号墳3次元測量業務	(株)アコード	(H22.10.6) 3,675,000	H22.10.6~ H23.3.31	H22.10.5 (免除) 指		精		新規 ①		
	単 単	空山古墳群3次元測量業務	(有)アイテック	(H22.10.6) 4,305,000	H22.10.6~ H23.3.31	H22.10.5 (免除) 指		精		新規 ①		
	単 単	開館20周年記念特別展に係る 展示業務	(有)ウェーブ ラン	(H22.10.12) 288,750	H22.10.12~ H22.12.20	H22.10.12 (免除) 随	H22.12.20	精	H23.1.5	288,750 新規		
	単 単	鳥取県立公文書館蔵劣化35 ミリマイクロフィルムの電子化	(株)イメージ テック	(H22.10.19) 679,350	H22.10.19~ H23.1.14	H22.10.15 (免除) 指	H23.1.12	精	H23.2.17	679,350②		
公文書館費	単 単	鳥取県史ブックレット原簿 委託	個人 (有識者)	(H22.10.18) 250,000	H22.10.18~ H23.3.31	H22.10.18 (免除) 随	H23.1.25	精			新規	
	単 単	鳥取県立公文書館所蔵の損傷公 文書の修復業務	錦河堂	(H22.12.24) 424,956	H22.12.24~ H23.3.25	H22.12.22 (免除) 指		精				
	単 単	鳥取県立公文書館所蔵貴費公文 書「鳥取県昭和9年災害記録」 他修復業務	(株)ヤマキ	(H23.1.13) 528,150	H23.1.13~ H23.3.25	H23.1.12 (免除) 指		精			新規	
	単 単	鳥取県立公文書館所蔵の写真ア ルブムの修復及び複製業務	ナカバヤシ(株)	(H23.1.14) 1,163,510	H23.1.14~ H23.3.25	H23.1.14 (免除) 指		精			新規 ②	
	単 単	公文書館所蔵写真フィルムの現 像、電子化及び修復業務	(有)高橋カメラ店	(H23.2.4) 728,556	H23.2.4~ H23.3.25	H23.2.2 (免除) 指		精			②	
予定価格が20万 円未満のもの										0		
目計										968,100		
合計										968,100		

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

イ 建物

該当なし

(平成23年2月28日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					差引		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)		価額 (円)	
行政財産	公文書館	鳥取市尚徳町101	1,727.84	403,518,220	増加	H						1,727.84	403,518,220	
計			1,727.84	403,518,220								1,727.84	403,518,220	
普通財産	-	-	-	-	増加	H						-	-	
計			0	0	減少	H						0	0	
合計			1,727.84	403,518,220								1,727.84	403,518,220	

ウ 山林

エ 動物

オ 権

カ 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

キ 有価証券

ク 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

該当なし  
該当なし  
該当なし  
該当なし  
該当なし

(平成23年2月28日現在)

種別	前年度末	本年度中		差引	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	円 3,070	円 2,400	円 2,220	円 3,250	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合計	3,070	2,400	2,220	3,250	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

(3) 債権

該当なし

- 15 財産の貸付け及び使用許可調べ 該当なし
- 16 借受不動産明細調べ 該当なし
- 17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし
- 19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 20 備品の処分状況調べ 該当なし
- 21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし